

## 農業生産法人設立支援金について

秩父別町の農業者が農業生産法人を設立し、優良な農業経営を助長するため、活動に必要な貸金を貸付します。

### ◆対象者

・秩父別町に在住する3戸以上の農業者で法人を設立し、設立した翌年度から2年度以内に認定農業者になることが確約できる法人。

### ◆貸付額

- ・3又は4戸の農業者による法人 200万円（無利息）
- ・5戸以上の農業者による法人 300万円（無利息）

### ◆貸付金の償還

- ・貸付を受けた翌年度から10年以内

### ◆必要書類

- ・申請書、誓約書
- ・法人の登記簿謄本
- ・借用証書
- ・印鑑証明書（債務者となる法人または連帯保証人）
- ・法人の構成員全員の所得証明書
- ・連帯保証人の所得証明書

### ◆貸付金の猶予等

法人が現に営農活動を行い、翌年度以降も引き続き営農を行うことが確実の場合で町長が認めたときは、当該年度の貸付金の償還を猶予します。

- ・その他、一定期間営農活動が継続され、町長が認めた場合は貸付金の債務を免除します。



## 平成23年度狩猟免許試験のお知らせ

**1回目** 月日 7月3日（日）

会場 岩見沢市 他

※予備講習 6月25日（土）

受付期間 平成23年5月24日（火）から  
平成23年6月24日（金）まで

**2回目** 月日 8月7日（日）

会場 旭川市 他

※予備講習 7月31日（日）

受付期間 平成23年6月29日（水）から  
平成23年7月29日（金）まで

申込み・お問合わせは、会場を管轄する総合振興局まで。

## クールビズを実施中

役場では、9月末までクールビズを実施しています。

- ・期間中職員が軽装をしておりますので、ご理解願います。

「クール・ビズ」(COOL BIZ) という表現は、「涼しい」や「格好いい」という意味のクール（英語：cool）と、仕事や職業の意味を表すビジネス（英語：business）の短縮形ビズ（BIZ）をあわせた造語です。



6/1~9/30

# 中山間地域等直接支払制度

## ◆制度の趣旨

平地に比べ傾斜地の多い中山間地域は、農業生産条件が不利な状況にあり、高齢化の進行・担い手不足等による耕作放棄地の発生、多面的機能の低下などが懸念されます。このことから、農業生産活動が継続的に行われるよう生産条件の不利を補正するため、平成12年度から導入された制度です。

秩父別町でも当初からこの制度に取り組み、平成22年度から第3期対策として対象農地のある4集落と協定を結び、各集落において様々な取り組みを実施しています。



【共同作業による農地等の保全活動】

## ◆共同取組活動の主な内容

- ア 農業生産活動→法面の崩壊未然防止活動、農地の保全活動等（全組織）
- イ 生産性・収益の向上に係る活動→生産性を高める融雪活動等（全組織）
- ウ 多面的機能を増進する活動→景観作物の移植～ハーブ（東）  
ルピナス（東方・協栄）、都市住民との交流【稲刈】事業（日の出）
- エ 共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備（全組織）
- オ 農地・農道・畦畔等の補修・改良→（東・日の出）

## ◆平成22年度の対象農地面積・交付金の状況

集落名	戸数	交付対象面積		交付単価 (円 / m <sup>2</sup> )	集落交付金 (円)	交付金の内分	
			( m <sup>2</sup> )			直接支払分	共同取組分
東	1 1	急傾斜	187, 141	21.0	4, 242, 561	2, 121, 280	2, 121, 281
		緩傾斜	39, 075	8.0			
東方	2 3	緩傾斜	1, 034, 334	8.0	8, 274, 672	4, 137, 336	4, 137, 336
協栄	3 5	急傾斜	24, 988	21.0	12, 088, 348	6, 044, 174	6, 044, 174
		緩傾斜	1, 445, 450	8.0			
日の出	1 9	緩傾斜	682, 011	8.0	5, 456, 088	2, 728, 044	2, 728, 044
計	8 8		3, 412, 999		30, 061, 669	15, 030, 834	15, 030, 835

※この事業は、国が1／2、道が1／4、町が1／4（7, 515千円）負担し実施しています。

## ◎ 今月は町税等（第1期）の納期です ◎

6月27日（月）は、町税等（町道民税・固定資産税・国民健康保険料・軽自動車税）の第1期の納期限です。

納め忘れのないようにしましょう。

◆お問い合わせ

総務課総務グループ（税務担当）

電話 33-2111 内線35番

## ローズガーデンちっぷべつ

### 6月25日（土）午前9時オープン

開園期間 6月25日（土）～10月10日（祝）  
開園時間 午前9時～午後5時 入園無料

（開園15分前には入園を終わらせてください）  
（美しいバラを維持するため、協力金をお願いしています）  
ご来場心よりお待ちしております。



- ◆オープン記念として、先着300名様に記念品を進呈いたします。
- ◆ローズガーデンに隣接する観光体験牧場「めゅー-めゅーランド」も合わせてご利用ください。

◆お問い合わせ：産業課産業グループ

電話 33-2111（内線64番）

## 北空知広域水道企業団からのお知らせ

北空知広域水道企業団は、深川市、沼田町、秩父別町、北竜町、妹背牛町に水道用水を供給する一部事務組合です。

企業団では毎年、条例の定めるところにより財政の状況を公表しています。今回は、平成22年度の事業及び経理の内容並びに平成23年度の事業計画及び予算の概要についてお知らせします。

### 平成22年度の事業及び経理の概要、平成23年度の事業計画及び予算の概要について

平成22年度の年間水道用水供給実績は3,468,326㎡（1日平均9,502㎡）となり、前年度と比較して77,584㎡（1日平均213㎡）減少しました。

平成23年度の年間予定供給量は、3,400,000㎡（1日平均9,290㎡）とし、施設運転・保守管理を中心とした収益的収支と資本的収支の予算額は下表のとおりです。

平成22年度 北空知広域水道企業団  
水道用水供給事業会計試算表

平成23年3月31日現在（単位：千円）

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
固定資産	9,020,011	固定負債	7,997
流動資産	274,923	流動負債	6,018
		資本金	4,876,254
		剰余金	4,404,665
計	9,294,934	計	9,294,934
営業費用	366,220	営業収益	417,544
うち減価償却費	(170,350)	営業外収益	10,190
営業外費用	32,082		
特別損失	13		
当年度純利益	29,419		
合 計	9,722,668	合 計	9,722,668

平成23年度 北空知広域水道企業団  
水道用水供給事業会計試算表

（単位：千円）

科目	区分	収益的収支	資本的収支
	収入		372,390
支出		406,766	372,376
差引		▲34,376	▲255,871

資本的収支の収入額が支出額に不足する額255,871千円は、損益勘定留保資金などで補てんいたします。

◆お問い合わせ 北空知広域水道企業団（電話 35-1878 FAX 35-2782）  
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.kitasorasui.or.jp/>



5 / 6

自転車で中学校へ通う生徒たちのために、交通安全教室が行われました。秋山駐在所所長から「自転車でも加害者になることもあります。乗る時は道路にはみ出さないよう気をつけてください。」と指導を受けていました。

広報に掲載した写真をご希望の方、広報に関するご意見ご要望は、総務課総務グループ（広報担当）までご連絡願います。  
※写真は電子メール送信による提供も可能です  
・電話 33-2111（内線31番）  
・メール kouhou@chippubetsu.jp



5 / 8

札幌市とその近郊の秩父別町出身者でつくる札幌秩父別会（原田修会長）の総会が札幌で行われ、今年は会創立50周年という節目でもあることから会場には約130人が参加、故郷を懐かしみ、親交を深めました。



5 / 6

札幌の大善維持建設会社の方々がボランティアで町道の清掃をしてくださりました。路上清掃車に乗り、歩道と車道との段差に溜まったゴミや砂埃を掃除され、車通りの多い東1丁目とその周辺の道路を綺麗にいただきました。



5 / 15

秩父神社内の開村記念碑前で、秩父別町開基117年目を祝う開町記念式典が行われ、名誉町民や町政功労者など70人が出席され、屯田兵として入植された先人らの労苦を偲び、町の平安を祈願しました。



5 / 15

秩父神社本殿で敬老祭が行われ、町の役職員や来賓、町内に住む75歳以上の方々約70人が集まりました。参加者は玉串を捧げながら、開拓の先祖の人たちを偲び、また健康で長生きを祈願しました。



5 / 20

子ども冒険の森公園・桜の杜で「桜の植樹」が行われました。植樹に協力していただいたのは、町建設業協会（大池豊会長）の会員20人とちっぴっ子の子どもたち11人で、町の名勝にしようとして桜の苗木30本を植えました。



5 / 20

小学校全学年による遠足が行われました。お弁当やおやつを詰めたリュックサックを背負った児童らは、1・2年生は町内へ、3年生以上は町外の目的地に向かって、元気良く小学校前を出発していきました。



5 / 25

得能修さんが耕作する水田で、「なつみの里」の利用者が田植えを体験しました。参加された8世帯13人の利用者は、苗を機械に積む作業から、田植え機の運転まで、「田舎の親戚」のメンバーらに教えてもらいながら挑戦していました。



5 / 22

東京秩父別会（赤松淳次会長）の第25回総会が東京都内で行われ、会員ら63人が参加。総会では神薮町長が町の様子や今年度の政策について話をされました。また懇親会では町出身の歌手守屋光二さんの歌などを楽しんでいました。



休み時間にみんなで観覧



5月28日に行われた体育大会で早速活用されていました

5月8日に札幌で行われた、札幌秩父別会総会において、創立50周年の記念事業として小学校にプラズマテレビを、中学校にデジタルビデオカメラを寄贈され、その目録を神薮町長が受け取られました。

札幌秩父別会が秩父別小・中学校へ寄贈



表彰を受けた鬼頭君と内山君



役場前に建てられた看板。1丁目交差点にもあります。

深川道路安全衛生協議会が主催する交通安全標語コンクールで見事優秀賞に選ばれた鬼頭秀明君（中1）と内山尚哉君（小5）が、5月25日に行われた春季安全大会で表彰状を授与されました。

交通安全標語コンクールで優秀賞